



この道☆ひと筋



「身体障害者と共に生きる
社会の実現をめざす」

旭日中綬章

徳川 輝尚さん(園部町・75)

全国に先駆けて身体障害者療護施設の設置運動を展開され、長年の献身的な活動の結果、昭和四十七年、わが国初の療護施設として「こひつじの苑」が開苑。以来、施設長として「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」を基本理念に、いかに障害が重くてもその可能性を限りなく追求し、共に生きる社会づくりに努めてこられました。また、昭和五十五年には重度身体障害者授産施設「京都太陽の園」を設立、昭和六十二年には舞鶴市に身体障害者療護施設「こひつじの苑舞鶴」を設立。重度身体障害者が生きる喜びを見出し、安心して生活できる環境づくりに、厚い情熱と強い責任感

旭日双光章

「福祉施策の充実に尽力」

故・今西 光治さん(八木町)

故・今西光治さんは、昭和五十年から十二年間、八木町議会議員に就任。その間、文教厚生常任委員長、監査委員として活躍されたほか、元八木町傷痍軍人会会長、元八木町身体障害者福祉協会会長、元船井郡身体障害者福祉団体連合会会長、京都府身体障害者団体連合会代表副会長を歴任され、教育や福祉の充実、交通対策など、まちづくりの礎となる施設整備や制度の充実・発展に尽力されました。ご冥福をお祈りいたします。

を持って貢献。全国の福祉従事者のリーダーとして、重度障害者福祉推進の中心的役割を果たされています。

旭日単光章

「園部のまちづくりに尽力」

故・今井 源一さん(園部町)

故・今井源一さんは、昭和四十一年から四年間、園部町議会議員、四十六年から七年六カ月間、園部町長として地方自治の発展に大きく貢献されました。特に、上水道事業や簡易水道事業の推進に尽力。さらに、住民センターや文化センター、児童・老人会館の建設、園部幼稚園、園部小学校の改築工事や園部町中央公民館を建設するなど、町づくりの根幹を成す施策の推進に大きな功績を残されました。ご冥福をお祈りいたします。



この大会は、五年前から開かれ、今回の競技には全国から約三百五十人が参加。年齢や障害の程度に応じて競い合い、グループ一位に松本弘子さんが入賞。また、的に当たった回数を競う部でも松本辰雄さんが三位入賞と活躍しました。

祝金、銅メダル獲得
のじぎく兵庫大会で活躍

「第六回全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会」のフライングデイスク競技で、松本弘子さん(八木町野条・写真右)と松本辰雄さん(八木町玉ノ井・写真左)の二人がそれぞれ金と銅メダルを獲得しました。